

<計画の内容 1. ～ 7. >は、合計**最大 5 枚**までとします。

<計画の内容>

1. 今回の申請計画で取り組む事業名【必須】(30 文字以内で記入)

地域の夢を実現する商店街プロジェクト

2. 商店街の現状及び課題（課題解決策）等

〇〇商店街は、広島市〇区に位置し、会員数 50 店舗で構成されており、飲食店や小売店を中心に地域住民の日常の買い物を支えています。

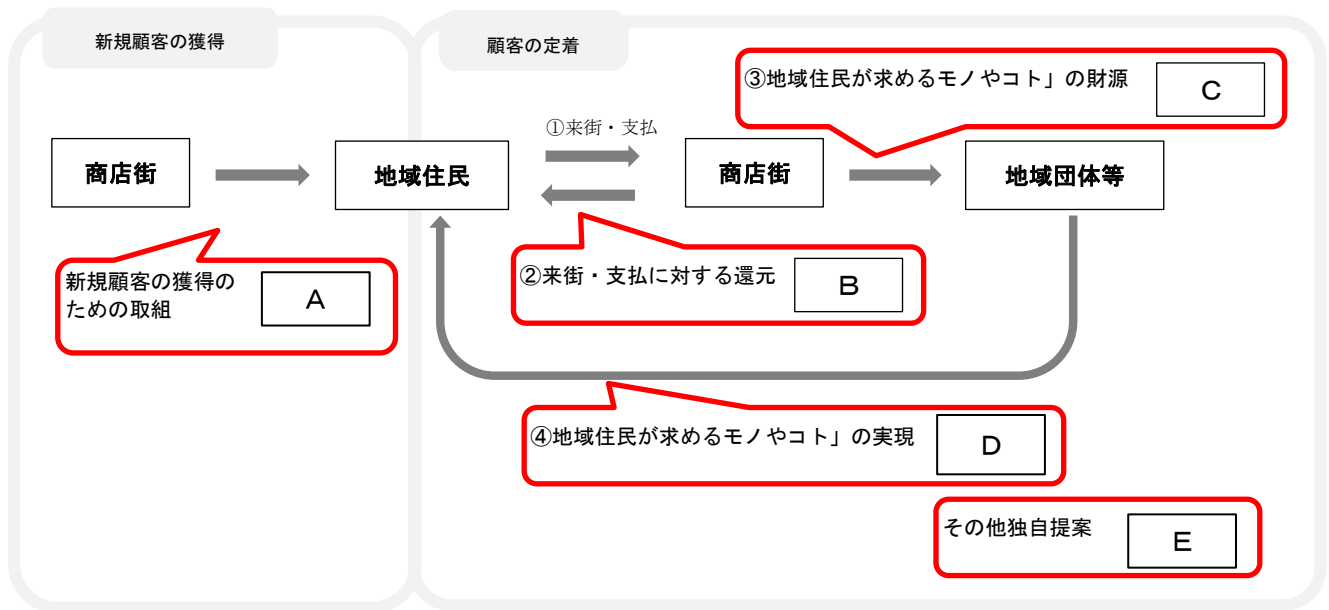
一方で、近年は来街者数の減少に伴い個店の売上も減少しており、空き店舗も目立つなど、商店街の活力低下が課題となっています。このため、来街機会を増やすとともに、各店舗の魅力を伝え、継続的な利用（顧客の定着）につなげる必要があります。

本事業で、プレミアム商品券等により新規来街を促すとともに、「商店街専用ポイント」である「〇〇商店街マイル」や地域イベントを活用し、再来街を促進することで、個店の売上向上と顧客の定着を図りたいと考えています。

3. 今回の申請計画で取り組む内容

【計画内容】

(1) 事業スキームの実施イメージ



番号	取組内容
A	プレミアム商品券を販売。6,000 円商品券×5,000 枚。
B	来店につき、「〇〇商店街マイル」を 1 マイル付与
C	「〇〇商店街マイル」 1 マイル付与につき、1 円を寄付
D	〇〇クリスマス会の復活。「〇〇商店街マイル」所持者に特別席や景品くじ引き抽選券などの特典を用意
E	商店街スタンプラリーの実施。「〇〇商店街マイル」所持者にくじ引き抽選券などの特典を用意

(2) 新規顧客の獲得

5,000 円の購入額に対し、1,000 円分のプレミアムを乗せた商品券 (6,000 円) を 5,000 枚発行します。プレミアム付与分の内訳は、「500 円券 1 枚」と「としポ 500 円分」とします。主なターゲットは、これまで商店街の利用頻度が低い近隣居住者 (単身世帯・子育て世帯) およびイベント来訪者とします。

販売方法は、商店街内の 15 店舗で購入できるようにする他、商店街のメインイベントである「商店街まつり」において販売ブースを設け販売するとともに、イベント当日の各ブースでも利用可能とすることを想定しています。

(3) 地域住民が求めるモノやコトの内容

※ 本取組は、来街者の購買に応じて蓄積された寄付を原資として実施するものとしてください。

〇〇LMOと連携し、かつて地域の象徴的な存在であった〇〇クリスマス会を復活させます。〇〇クリスマス会は、地域で約50年続いてきた伝統的なもので、地域の子供から高齢者まで幅広く親しまれてきたものです。コロナ禍において中止となって以降、主催者である〇〇町内会の高齢化による人手不足やスポンサー離れによる資金不足等により長らく休止状態にあります。

このような状況の中、〇〇LMOおよび〇〇商店街の40~50代が中心になり、〇〇クリスマス会の復活について令和6年度から協議を続けていたところです。このクリスマス会の開催により、地域の歴史を諸先輩方から引継ぎ、若い世代に伝えていき、私たちのまちの大切さを再認識できるものと考えています。

(4) 「商店街専用ポイント」の流れ

本事業では、来街者の来店に応じて地域専用マイルが付与され、その蓄積を通じて地域活動の財源が生まれる仕組みとしています。商店街内の店舗に来店されたお客様がQRコードを読み込むと「地域専用マイル1マイル」がとしポアプリ内に付与されます。

各店舗は、「〇〇商店街マイル」1マイルにつき、1円を「地域住民が求めるモノやコト」の資金として寄付します。地域専用マイルを貯めたお客様には、貯めたマイルに応じて特典を用意します。例えば、「10マイル以上貯められたお客様は最前列に座れる権利 (応募多数の場合は抽選)」や「2マイル以上のお客様には、店舗の商品が当たるガラポンを回せる権利」を用意します。

さらに、利用期間後半に実施する「商店街スタンプラリー」では5個スタンプを集めた方から抽選で景品が当たりますが、「〇〇商店街マイル」をお持ちのお客様には特別に当選確率が2倍となるようにします。どれだけマイル数を貯めれば有効とするかは期間中の付与数を見ながら決めていきたいと考えています。

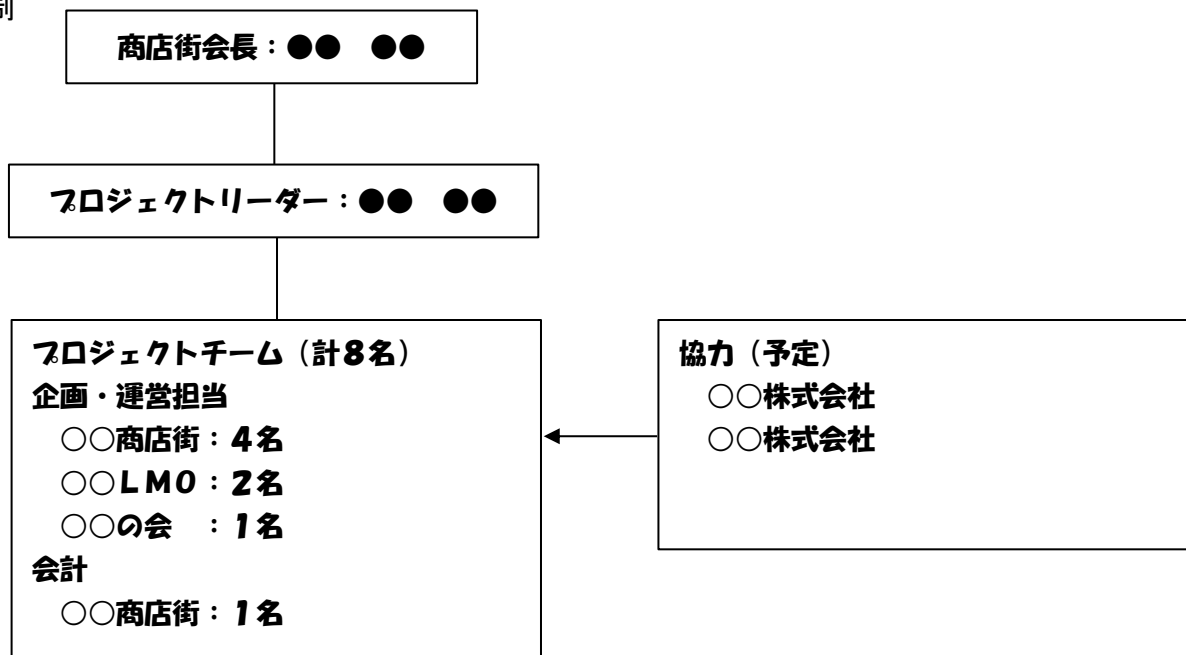
【実施予定期間】 (事業開始日から事業終了予定日を記載ください)

2026年 8月 15日 ~ 2027年 1月 31日

(事業開始は2026年8月15日以降、事業終了予定日は2027年2月26日までの日付をご記載ください。)

※ 対象期間外の記載又は未記載は書類不備として審査対象外となりますので必ずご記載ください。

4. 実施体制



5. スケジュール

時期	内容
8月	・事業実施準備 : 商品券印刷
9月	・商品券販売開始 (9/1~10/31)
10月	・商品券利用開始 (10/1~11/30)、「〇〇商店街マイル」の付与開始 (10/1~12/10)
11月	・商店街スタンプラリー (11/1~11/30)
12月	・クリスマス会 (12/25 予定) ・スタンプラリー当選者に景品受け渡し (12/16~12/31)
1月	・事業報告書の提出

※ 「商店街専用ポイント」の付与開始は10月1日以降を設定してください。

6. フェリカポケットマーケティング(株)へ機能の実現可否等について確認

確認日: 7月1日

指摘事項: 有 () ・ 無

7. 地域との連携状況

商店街名	〇〇商店街
会員店舗数	50店舗 うち本事業への参画店舗 50店舗
としポ活用実績	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 ※ 有の場合、以下に年度と事業名を記入してください。 (2022年度: 商店街スタンプラリー、2023年度: 商店街スタンプラリー)
地域団体の参画有無	地域団体名 (〇〇LMO) 参画内容: ①経費の負担 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 →有の場合: 30万円 ②協議への参加 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 →有の場合: LMOの役員2名が参加 ③実施体制への参加: <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 →有の場合: クリスマス会本部業務に2名参加予定 ※ 有の場合: 内容を記入してください。
地域団体との協議状況	令和6年夏ごろから、〇〇LMOとクリスマス会に関する意見交換を開始。地域の祭りや商店街イベントのアンケート等でクリスマス会復活を願う声も聞いており、継続して協議を続けているところ。今回の申請については、LMO会長ほか主要メンバーの了承も得ており、補助金が採択された際には、各団体の事業計画にも入れます。 ※ 上記協議内容が確認できる協議録等を可能な範囲で添付してください。
本事業の広報について	(新規顧客の獲得に係る周知) プレミアム商品券の準備が整う9月から各店舗にポスターを掲示します。また、〇〇LMOの協力により、各町内会の回覧板での周知を行います。 (顧客の定着に係る周知) 上記広報手段と同様に周知を行っていきます。
新規顧客の獲得目標とカウント方法	2,500人 1人2セットまでの購入可とし、購入者全員が必ず来ることを目標とします。なお、既に常連の方もカウントすることになります。
顧客の定着の獲得目標とカウント方法	500人 プレミアム商品券の利用期間終了後に、としポアプリにて「〇〇商店街マイル」を付与した人をカウントします。